

# 会 議 録

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称     | 平成２８年度 和泉市外部評価委員会（和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び和泉市総合計画に係る事務事業の評価等に関する外部評価委員会）                                                                                                                                                                                                             |
| 開催日時      | 平成２８年５月２０日（金） 午後２時から午後３時４０分まで                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 開催場所      | 和泉市役所３号館３階 市議会委員会室                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 出席者       | <p>[委員]（順不同）今川委員長、岡本副委員長、椎場委員、篠原委員、村上委員</p> <p>[事務局] 石川副市長、宮崎副市長</p> <p>森吉公室長、黒木市長公室理事、小泉政策企画室長、佐々木企画経営担当課長、門林企画経営担当総括主幹、藤原企画経営担当総括主査、中川企画経営担当主事</p> <p>[事業担当課] ①公民協働推進室：森本総括参事、秦総括主幹、小路主事</p> <p>②こども未来室：山本室長、西川課長</p> <p>③いずみアピール課：辻次長、福田課長補佐、加藤係長</p> <p>④農林課：濱田次長、藤里課長補佐</p> |
| 会議の議題     | <p>１ 開会</p> <p>２ 委員長、副委員長の選出</p> <p>３ 和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生先行型交付金事業について（事務局説明）</p> <p>４ 平成２７年度実施 地方創生先行型交付金事業の評価（①安全なまちづくり推進事業、②こども医療費助成拡大事業、③来訪促進モニター事業、④農業担い手育成事業）</p> <p>５ 平成２７年度実施 地方創生先行型交付金事業の報告（和泉市総合戦略策定事業）</p> <p>６ 閉会</p>                                          |
| 会議の要旨     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今川委員を委員長に、岡本委員を副委員長に選出した。</li> <li>・平成２７年度実施 地方創生先行型交付金事業について、事業担当課から説明を受け、質疑応答を行い、それぞれの評価を行った。</li> <li>・委員長取りまとめのうえ、各委員確認の後、市長あて答申することとした。</li> </ul>                                                                                  |
| 会議録の作成方法  | <p><input checked="" type="checkbox"/>全文記録</p> <p><input type="checkbox"/>要点記録</p>                                                                                                                                                                                               |
| 記録内容の確認方法 | <p><input type="checkbox"/>会議の議長の確認を得ている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>出席した委員全員の確認を得ている</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p>                                                                                                                                    |
| その他の必要事項  | 傍聴者 ３名                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## 次第 1 開会

### 司会（政策企画室長小泉）

大変長らくお待たせしました。

ただいまから、和泉市外部評価委員会を開催させていただきます。本日は、委員の皆様方におかれましては公私ご多用のところ、本委員会にご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、まことに僭越ではございますが、委員長選出までのしばらくの間、私、和泉市政策企画室の小泉が司会を務めさせていただきたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

また、本市では5月からクールビズを推奨しておりますので、本日の会議は、軽装にて出席させていただいておりますので、ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、会議を始めます前に、事前にお配りしております資料の確認をさせていただきたいと思います。まず、次第、資料1-1 和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生先行型交付金事業について、資料1-2 和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の抜粋、資料2 事業評価シート（安全なまちづくり推進事業）、資料2の参考資料として、アンケート集計結果、事業参考資料、作成した防犯マップの写しを添付しております。

続いて、資料3 事業評価シート（こども医療費助成拡大事業）、資料3の参考資料として、アンケート調査結果、乳幼児医療費助成府内市町村実施状況一覧を添付しております。

続いて、資料4 事業評価シート（来訪促進モニター事業）、資料4の参考資料として、和泉市観光振興戦略プランの一部抜粋したものを添付しております。

続いて、資料5 事業評価シート（農業担い手育成事業）、資料5の参考資料として、別紙と題した事業の概要資料、また、成果物のパンフレットを添付しております。

続いて、資料6 事業評価シート（総合戦略策定事業）でございます。そして、4つの事業を評価していただく項目をお示ししました外部評価シートでございます。資料の不足等、ございませんでしょうか。

ここで、会議録の作成についてご説明させていただきます。本会議の会議録作成のため、発言内容を録音させていただきますが、会議録作成後は、録音内容を消去いたします。録音のため、お手数ですが、ご発言の際は、マイクのご使用をお願いいたします。また、会議録について、発言者の氏名を公表して作成しますことをご了承願います。それでは、副市長の石川より開会のご挨拶をさせていただきます。

### 【開会あいさつ】

#### 副市長 石川

本日は、公私ご多用のところ、和泉市外部評価委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、平素から市政各般において力強いご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびは、和泉市総合計画審議会委員に引き続き、本委員会への委員就任をお願いしましたところ、快くお引き受けいただき、重ねてお礼申し上げます。

さて、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、「東京一極集中の是正」や「若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現」に向け、国と地方が一体となり、地方創生の取り組みが始まりました。本市においては、総合計画審議会委員のご協力を得て、昨年12月に和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定いたしました。また、地域の消費喚起、生活支援のためのプレミアム付の商品券の発行を行ったほか、国の交付金を活用し、本日評価をいただく事業に取り組んでまいりました。

この交付金対象事業につきましては、事業の達成度や効果について、外部の有識者による検証を経て、事務事業の見直しなどを行い、さらなる地方創生の取組みにつなげていくこととされております。

本日は、事業の評価にあたり、委員皆様のご見識・ご経験を踏まえ、忌憚のないご意見を賜りたいと考えているところです。委員皆様には、たいへんご負担をおかけ致しますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、私のあいさつに代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 司会（政策企画室長小泉）

続きまして、委員の方々のご紹介をいたします。順不同でのご紹介となりますのでご了承ください。同志社大学政策学部教授の今川委員でございます。池田泉州銀行和泉支店支店長の岡本委員でございます。和泉市社会福祉協議会副会長の椎場委員でございます。KADOKAWA マガジンプランド局関西ウォーカー編集長の篠原委員でございます。桃山学院大学社会学部准教授の村上委員でございます。

## **次第２ 委員長・副委員長の選出**

#### 司会（政策企画室長小泉）

それでは、続きまして、会議次第２、委員長、副委員長の選出に移ります。委員長・副委員長の選出にあたりましては、規定により皆様の互選による行うこととなっております。したがって、立候補又はご推薦をいただきまして、選出したいと存じます。立候補又はご推薦はございませんでしょうか。

#### （岡本委員）

事務局案はございますか。

#### 司会（政策企画室長小泉）

ただいま、事務局（案）についてご質問いただきましたので、大変僭越ではございますが、事務局（案）をご説明させていただきます。

委員長は、地方自治やコミュニティ政策に幅広いご見識をお持ちで、本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略や総合計画の策定に審議会の会長としてご参画いただいております今川委員にお願いしてはいかがかと考えております。

また、副委員長には、地方創生の取組みに金融機関としてご参画いただき、本市と産業振興連携協力に関する協定を締結し、本市の施策推進にご尽力いただいております池田泉州銀行の岡本委員にお願いしてはいかがかと考えております。

この案につきまして、委員の皆様、いかがでしょうか。

（異議なしの声あり）

ありがとうございます。それでは、委員長は、今川委員に、副委員長は、岡本委員にお願いすることに関しまして、皆様の拍手をもってご承認をお願いいたします。

（委員による拍手）

ありがとうございます。

ただいま委員長に選出されました今川委員におかれましては、委員長席までお願いします。

（委員長着席）

それでは、委員を代表しまして、今川委員長から一言、ごあいさつをお願いします。

### (今川委員長)

同志社大学の今川でございます。和泉市外部評価委員会委員長の就任に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

このたびは、委員の皆さま方から満場一致で委員長にご選出いただき、まずもってお礼を申し上げます。まことに僭越ではございますが、皆さま方のご理解とご協力をいただきながら、本委員会を円滑に運営してまいりたいと存じます。どうか、委員各位におかれましては、委員会運営に際し、ご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

はなはだ簡単ではございますが、就任のごあいさつに代えさせていただきます。

ありがとうございました。

### 司会（政策企画室長小泉）

どうもありがとうございました。

それでは、これより、議事進行は今川委員長にお願いいたします。なお、事業評価の諮問につきましては、お手元にお示ししてございます資料のとおりでございますので、時間の関係上、省略させていただきます。

今川委員長、どうぞ、よろしくお願いいたします。

## **次第3 和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生先行型交付金事業について** (今川委員長)

それでは、次第に従いまして、会議を進めさせていただきますが、本日の会議は、16時までを目処に、進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それではまず、次第3「和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生先行型交付金事業について」、事務局より説明をお願いします。

### 事務局（政策企画室 中川）

政策企画室の中川と申します。次第3「和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生先行型交付金事業について」ご説明いたします。お手元の資料1-1をご覧ください。

まず、1. 地方創生先行型交付金制度についてでございます。近年、全国的に急速な少子高齢化の進展が進む中で、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が施行されました。そして、国と地方とが一体となって、東京一極集中の是正、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、そして地域の特性に即した地域課題の解決に向けた取組みを行うため、すべての都道府県及び市町村に「地方版総合戦略」の策定が求められました。「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型交付金）」につきましては、少しでも早くから地方が地域活性化の取組みに着手できるようにと、地方版総合戦略の策定に先行して行う事業に対して国から交付された交付金でございます。この交付金を活用した事業を行うにあたっては、事業の目標となる指標、これをKPIと申しますが、KPIをあらかじめ定めておき、事業終了後には事業の達成度や成果について検証することが国から求められております。また、この検証に際しては、外部有識者等で構成される検証機関によって客観的に評価を行うこと、とされているため、本日委員の皆様に評価・検証を行っていただく次第です。

続きまして、2. 実施した事業と和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係についてでございますが、先ほどご説明しました地方創生先行型交付金を活用しまして、本市では、平成27年度に5つの事業を実施しました。次のページ、別表をご覧ください。

この別表の左側の5つが実施した事業でございまして、それぞれに個別目標を掲げて事業を行いました。この個別目標にあたるのが、「【ア】KPI」から「【エ】実績値（平成27年度）」です。1番

目の事業、安全なまちづくり推進事業でご説明させていただきますと、この事業は、【ア】の欄、「以前と比較して防犯施策の満足度が高まったと思う保護者の割合」を KPI とし、【ウ】の欄、平成 27 年度時点で 70%となることを目指して事業を実施いたしました。結果、【エ】の欄、実績値は、平成 27 年度時点で 94.2%であり、この事業としての目標は達成した、ということになります。

この個別目標とは別に、右側、「総合戦略との関連」とございます。こちらは、本市の地方創生の基本となる計画である「和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に記載しているものでございます。資料 1－2 をご覧ください。

資料 1－2 の 1 ページ目、「総合戦略の体系」とありますように、本市の総合戦略では、9 つの基本目標と、基本目標ごとに基本的方向を定めており、基本目標ごとに数値目標、基本的方向には KPI を掲げています。具体的には、2 ページ目をご覧くださいと、一番上の白抜き部分、「住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり」という基本目標には、数値目標として、「市内犯罪件数」を 5 年間で約 5 %減少させるという目標を設定しています。この基本目標に対し、基本的方向（2）安心して生活できる防犯体制の整備としまして、施策の方針と具体的な取組みを定め、これらの成果を図るための KPI として、「防犯カメラの設置台数」等を掲げております。基本的方向にある KPI を達成することによって、基本目標に掲げる数値目標を実現しようとしているものでございます。

そこで資料 1－1 の別表に戻っていただきます。この 5 つの交付金対象事業は、総合戦略の策定に先立って実施されたものの、左側【ア】【イ】【ウ】【エ】の個別目標を達成するだけでなく、将来的に、右側【オ】【カ】にあります総合戦略に掲げた基本目標や KPI の達成につなげていく必要があります。そこで、本日委員の皆様へ評価・検証いただく項目といたしましては、大きく分けて 2 点でございます。

外部評価シートを参照願います。このシートは、評価いただきたいポイントをお示しすべく、委員皆様への参考資料として配布させていただいております。まず、1 点目は、外部評価シートの上段「事業の評価」の項目ですが、地方創生先行型交付金を活用して実施したこれら事業が、総合戦略に掲げる KPI、及び基本目標、すなわち【オ】【カ】を達成するために有効であったかどうかについて評価していただきます。有効であるとお考えであれば、評価できる点を、有効とはいえなかったとお考えであれば、よくなかった点や改善点をお示しいただきたいと思っております。これらについて、委員会としての意見をまとめていただきまして、次に 2 点目、外部評価シートの下段に記載しております事業の今後の方針につきまして、事業拡大、内容見直し、事業継続、事業中止の 4 つの中から、今後の方針をお選びいただき、併せてその理由もお示しいただきたいと思っております。

なお、事業の 5 つ目、和泉市総合戦略策定事業に関しましては、効果検証が不要とされており、評価の対象外となっておりますため、事業の報告とさせていただきます。以上でございます。

#### （今川委員長）

ただいまの説明に関して、ご質問等はございませんでしょうか。

（質問なし）

### **次第 4 平成 27 年度実施 地方創生先行型交付金事業の評価**

#### （今川委員長）

それでは、次第 4 「平成 27 年度実施 地方創生先行型交付金事業の評価」に移ります。

先ほど事務局より説明がありましたとおり、効果検証の対象となる事業は、全部で 4 事業あります。また、評価を行う項目につきましては、事務局から外部評価シートにおいて、項目が示されております。

評価の進め方としましては、各事業について、まず事業担当課からの説明を受け、質疑応答を行

います。その後、委員の皆様それぞれに評価に関するご意見をご発言いただきまして、最終的に委員会としての評価を取りまとめてまいりたいと考えております。なお、進行の都合上、1事業あたり、20分～30分程度で進めてまいりたいと考えてございますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

### 【①安全なまちづくり推進事業】

それでは、事業1 安全なまちづくり推進事業について、担当課から説明をお願いします。説明の前に、所属とお名前をおっしゃっていただきますようお願いいたします。

#### 事業担当課（公民協働推進室）

公民協働推進室の森本、秦、小路と申します。

地方創生交付金を活用した「安全なまちづくり推進事業」について、資料2に沿ってご説明させていただきます。

事業目的としましては、子育て世代の転入・定住を促進するために、安心して生活できる環境整備とそのPRが重要であると考え、安心・安全なまちづくりを推進するためには、市民の防犯意識・知識の向上が重要であることから、防犯マップの作成や防犯教室の開催等により防犯意識を高めるほか、防犯カメラの設置により、犯罪件数の減少に取り組むことを目的としています。

事業の内容としては、ソフト面とハード面での取り組みを行いました。ソフト面ではNTT西日本へ事業委託を行い、和泉市内の小学校21校に対して、防犯マップの作成を行いました。防犯マップにつきましては、資料の最後に参考として伯太小学校のものを添付させていただいておりますので、ご覧ください。

防犯マップの作成については、まず児童に対して防犯教室を行い、防犯意識の啓発を行ったのち、通学路上の危険箇所について児童とともに、まち歩きを実施のうえ児童に危険と思う場所の意見をだしてもらいました。その後、防犯マップ作成ツール（電子地図）を利用し、生徒の声を反映したマップの作成を行い、完成したマップを全生徒に対して配布を行いました。防犯マップをただ配布するだけではなく、できる限り活用していただけるように、防犯マップにチェックボックスを設けて、保護者と一緒に危険箇所の確認をしてもらえるようにするなどの工夫をもちこんでいます。また併せて防犯マップ作成に参加した児童の保護者に対してアンケート調査を行いました。

ハード事業としましては、防犯マップ作成の経過を踏まえて、通学路の安全対策のために各校区に1箇所、合計で21台の防犯カメラの設置を行いました。

事業費としましては、消耗品費99,600円、委託料10,499,760円、使用料及び賃借料、防犯カメラの電気代及び電柱共架料ですが3,113円、備品購入費、防犯カメラ購入ですが6,214,320円となっております。

続きまして事業の成果についてご説明させていただきます。次ページのアンケート集計結果をご覧ください。以前と比較して防犯施策の満足度（安心感）が高まったと思う保護者の割合の目標値を70%に設定していましたが、アンケート調査の結果94.2%の保護者の方が防犯施策への満足度（安心感）が高まったという結果になりました。アンケートの配布数としましては、防犯マップ作成に参加した347人のうち274人の回答をいただき、回収率としては79%となっています。また、資料には添付させていただいておりませんが、児童の防犯意識が高まったと感じている保護者の割合についても、92.4%と高い数値となっています。その他、学校側からの声として、児童が自分たちで危険な箇所を意識するようになり、自分たちの意思で遊ぶ公園を変更したりしているという話があったほか、今回の防犯マップを活用して、学校独自で防犯に対する講義を行ったり、ワークショップに参加した児童が全校生徒の前で発表を行っている小学校もありました。今回の事業で終わりではなく今回の事業がきっかけとなり、地域全体の防犯力の向上につながっていけばと考えています。ただし、今回の事業の中では、全ての通学路を網羅できているわけではありません。今後についても通学路等に対する防犯対策については、教育委員会等と協力しながら取り組んでいきます。

また、防犯カメラについても今回は各校区1台のみの設置であり、さらにひったくりや路上強盗等の街

頭で発生する犯罪の未然防止及び子どもや女性を狙った犯罪の抑止を強化していく意味でも、設置台数を増やしていく予定であり、資料1－1の別表にもありますとおり平成31年の目標値を300台と定めています。また防犯カメラの設置台数の増加が市内犯罪件数の減少につながればと考えています。

以上で「安全なまちづくり推進事業」についての説明を終わらせていただきます。

#### (今川委員長)

ただいまの説明に関して、ご質問等ございませんでしょうか。

#### (椎場委員)

私は、先日、防犯マップを学校でお借りして拝見しましたが、非常によくできています。ただ、もったいない気がします。なぜなら、あまりに良くできすぎていて、次の子どもたちがいかに活動するか考えていただけないくらい良くできています。防犯マップの中に「防犯カメラを設置したほうがよい」という子どもの意見もあります。ご覧いただければわかりますが、このチェックの入っているところは、地域の自治会へ伝達されているのか、学校だけで終わっているのか、このあたり良くわからないところがありますが、今回の取組みは非常に良いと思います。ある学校の校長先生や教頭先生の評価も高いし、私も毎朝見守り活動をしています。このマップを見ると非常に参考になります。我々、地域で見守りしている者にも子どもたちの視点で見たものを広めていければと思っています。非常に良くできています。

#### (今川委員長)

他にご質問ございませんでしょうか。

#### (椎場委員)

予算において、執行面で予算が余っているがどうか。

#### (事業担当課)

防犯カメラ、備品の購入費ですが、入札の関係で差が出ています。当初予定していた金額よりも安くカメラを納入できたので、予算と決算の差額が出ています。

#### (篠原委員)

私も防犯マップを見させていただいて、非常に良くできていると思います。ただ、気になった点ですが、状況は今後いろいろ変わってきますので、冊子のクリーニングといえますか、情報の更新を今後定期的に行っていくのかどうか。このあたり気になった点です。

#### (事業担当課)

今後、町の様子や危険な個所は随時変わっていくものと考えていますが、まったく同じやり方というものを今のところ予定していませんが、教育委員会、学校と協力して同じような取組みをやっているよう検討しているところです。

#### (岡本副委員長)

1点確認ですが、今回、通学路ということですが、子どもさんが良く遊ぶ場所も入っているのでしょうか。

#### (事業担当課)

そうです。町歩きした中には、子どもたちがよく遊ぶ公園等も含まれており、その中での危険な箇所について子どもの目で見ていただきました。

#### (村上委員)

2点コメントです。1点目ですが、椎場委員と関係しますが、このマップを活かして、例えば落書きのあるところをみんなできれいにしようなど、地域での活動につながると町の雰囲気が良くなっていくと思います。あともう1点、やはり防犯カメラは効果があるということですが、個人情報には当たらないと思いますが、やはりデリケートなものですから、取扱いを適正にしていただけると良いかと思います。

#### (事業担当課)

防犯カメラについては、今後も台数を増やしていく予定ですが、防犯カメラを設置する際にはカメラに写りこむ家庭には必ず同意書を取る形をとっておりまして、どうしても写り込むのが嫌な家庭についてはマスキングの処理をするなど配慮しています。また防犯カメラについても監視という形ではなく、何か事件があったときに警察がその映像を見るようにしています。通常時は、私ども危機管理部局においても映像を見ないというようにプライバシーについて配慮しています。

#### (椎場委員)

追加ですが、防犯カメラの話ですが、私の住んでいる校区では、平成25年は防犯カメラ「0」であったが、現在は5台になっています。かなりの増設、設置をさせていただいている。これも地域の方と相談しながら設置しており、このまま平成31年の300台をめざして、よろしく願いたい。あと、私個人としての考え方ですが、いわゆる公的な場所でなく、企業、例えば病院、弥生の風ホールなど不特定多数の人がたくさん集まる場所へ行政の指導でたくさん防犯カメラを設置していただくことを希望します。いろいろな事件があったとき、悪質犯罪者や車の暴走など、ほとんどは企業か、あるいは個人が設置している防犯カメラに写っているシーンが多い。できれば企業に対する指導も行っていいただければと思っています。

#### (今川委員長)

防犯カメラの設置で評価が高かったということや、マップを作成した後、どうするのかという問題、また防犯カメラだけでなく地域での防犯対策をどうするのか等、いろいろなご意見がございました。

それでは、本事業の評価を行いたいと思います。評価の流れとしましては、まず上段の「事業の評価」をとりまとめたのち、下段の「実績値を踏まえた事業の今後について」、とりまとめを行い、委員会としての評価とさせていただきますと考えております。

早速ですが、上段の事業の評価に関しまして、①の評価で「有効か」「有効でなかったか」のどちらを選択したか、そして、それを選択した理由、原因などを各委員さんにおかれては、順におっしゃっていただきたいと思います。選択肢は2つしかありませんので、場合によっては、どちらかという有効、どちらかという有効でないというようにおっしゃっていただいても結構かと思います。それでは、どなたかから順に評価をお願いします。

#### (岡本副委員長)

この事業は、KPI達成に有効であったと考えます。その理由は、この事業のKPIも達成しておりますし、防犯教室や防犯マップの作成により親子さんの防犯意識は確実に高まっていると思われます。またこの事業は、総合戦略の施策の方針や具体的な取組内容にも合致するものであり、今後はK

P I である市内犯罪件数の減少に寄与していくものと考えます。

(篠原委員)

私も有効であると考えます。資料にもありますように 94%以上の市民の方が評価している点がひとつあるのと、防犯マップを作成するということが市民の防犯意識を高めることに非常に効果的であるということと、犯罪に対する抑止力に非常に効果的であったと考えています。さらに平成31年は防犯カメラの設置が倍増以上ということで、さらに効果が期待できるものと考えています。

(椎場委員)

私も二人の委員と同様に有効であると考えます。

(村上委員)

私も有効であると考えます。まず、K P I が目標を上回っており、また入札を実施し、効果的な予算執行を行っていること、またアンケートの結果も良く、評価できると思います。

(今川委員長)

はい、ありがとうございます。そうしましたら、事業の評価としては、1 番の「取組事業が地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった」とします。理由としましては、K P I が達成されていること、アンケート結果で評価が高かった、実施事業が意識啓発にも有効であった、また予算面でも効果的に執行されていたとします。それでは、下段の「実績値を踏まえた事業の今後について」の評価にまいります。

ここでは、事業の今後の方針について、事業拡大、改善、継続、中止の4つの方針の中から、本事業が今後とるべき方向性、そしてその理由について、皆様よりご意見を頂戴したいと考えます。それでは、順にご発言をお願い致します。

(岡本副委員長)

今後の方針としましては、1 番の「事業拡大」とします。理由としましては、こういう取組みは継続して取り組むことが非常に大事であり、また実績値は94.2%と高いが、続けていかないと今後、数値が下がっていくことも考えられますので、継続して事業を推進していただきたいと思います。

(篠原委員)

私も1 番の「事業拡大」としています。ただ、作成したマップを今後どのように使用していくのか考えていく必要があると思います。先ほども申しましたが、だんだん状況は変わっていきますし、かつて危険とされていた箇所も改善されて良くなっていくこともあるかと思います。そのあたり情報をクリーニングして、継続して情報を発信していくことが大事であると思います。また、冊子を配布していますが、冊子の配布だけでなくWEBサイトへ掲載するとか、あと出来るかわかりませんが、アプリを構築する等、今後の活用方法を検討すると良いかと思います。あと、「防犯カメラを増やしていること」をどれくらい市民に周知していくのかということが犯罪を抑止していくという点では一つの方法と思います。

(椎場委員)

先程から申し上げているとおりですが、防犯マップは継続して活用していただきたい。2, 3 年たてば状況も環境も変わるので、また再び取り組むことにより、子ども、親に常に防犯意識を高める取組みを継続して行っていただきたいと思います。今、防犯マップは和泉市内の子ども、1、2 万人し

か持っていないと思います。これを他の方にどのように渡して活用していくか検討していただきたい  
と思います。また、防犯カメラについては、300台プラス、他の施設において設置する取組みを市  
で取り組んでいただきたいと思います。

#### (村上委員)

私も1の事業拡大です。理由は先ほど申しました。コミュニティ全体でどのように活動を広めてい  
くか、また防犯カメラの適正利用ですね。市では適正に利用しているということですが、個人が設置  
する場合個人情報の取扱いに注意が必要ですので、そういう意味でも、市として積極的に防犯カメラ  
の設置を進めても良いのではと思います。

#### (今川委員長)

ありがとうございます。選択肢としては、この中から1つを選ぶということになりますので、1  
の事業拡大とします。ただ、満足度も高いので推進していくべきだというものの、防犯マップの見  
直しや防犯マップの活用方法についてより充実した形にしていきたいと思いますし、市民の防  
犯意識という観点から、子どもや親が家庭で持つだけでなく広く市民が共有できる形になれば、さ  
らに防犯力が高まると思われます。あるいは防犯カメラの適正利用については表裏の関係ですから  
取扱いについて絶えず意識していただきたいと思います。方針としては、1番とさせていただきます  
。1番の事業の評価は、これで終了します。ありがとうございました。

### **【②こども医療費助成拡大事業】**

#### (今川委員長)

それでは、続いて、事業2 こども医療費助成拡大事業について、評価を行います。担当課の方  
は、説明の前に、所属とお名前をおっしゃっていただきまして、説明をお願いします。それではよ  
ろしくお願いします。

#### 事業担当課（こども未来室）

こども未来室の山本、西川でございます。

実施した事業は、こども医療費の拡大助成事業でございまして、少子化対策として、こども医療費  
の通院助成を平成27年7月診療分から小学校3年生から6年生まで引き上げを行い、若年世代の転  
入増加と定住促進を図ることを事業目的としております。

成果指標としましては、平成27年3月こども・子育て応援プラン策定の際に調査した子育て家庭  
への意識調査、子育て施策満足度としており、前回調査時の13.4%から5ポイントアップの18.  
4%を目標値としておりましたが、今回の調査では37.4%という結果になっております。

前回の調査につきましては就学前児童をおもちの保護者3,000人、小学生をおもちの保護者1,600  
人、有効回答数2,505件、54%の回収率となっておりました。今回のアンケートについては、就学  
前児童対象1,000人、小学生対象1,000人、有効回答数1,149件、約60%の回収率となっておりま  
す。

事業の効果の評価としましては、子育て世帯の医療費の負担の軽減を図ることができたため、極め  
て有効で、効果的でありました。事業の必要性につきましては、今後も子育て世帯の医療費の軽減を  
図ることにより健全な子どもの育成に寄与するため必要であると考えております。目標達成の要因に  
ついては、以前から要望の高かったこども医療費助成の対象を引き上げたことや、文化施設への評価  
が高かったことが要因であると思われます。また、アンケートの回収率の高さから和泉市民の子育て  
支援に対する関心の高さが窺われました。

今後の取組みにつきましては、大阪府内市町村におきましても通院助成において中学校卒業年度末

までを対象とする市町村が過半数を超えていることから、若年世代の転入と定住促進を図るためには、より一層拡大を図る必要があると考えております。説明は以上でございます。よろしくお願いします。

#### (今川委員長)

ただいまのご説明に対しご質問はございませんでしょうか。(質疑なし)

ご質問がないようですので、事業の評価に入らせていただきます。先ほどと同じように有効であったか、有効でなかったの2者択一の選択とその理由を併せてお願いいたします。

#### (岡本副委員長)

この事業についても、1の有効であったと考えます。その理由としましては、こども医療費助成につきましては、若年世代が定住や転入、出産・子育てを考える上で、非常に大きな要因の1つであると考えます。また、本事業はKPIである合計特殊出生率の向上につなげるために有効であると考えますので、1の有効であったとします。

#### (篠原委員)

私も有効であったと考えます。まず、KPIの目標値が18.4%であるところ、実績値が37.4%と非常に高い水準で目標がクリアできている点と、こども医療費の助成の拡大は、家計にダイレクトに直結しますので、市民にとって効果的であり、メリットの大きい取組みであったと考えています。

#### (椎場委員)

私も有効であると考えます。しかし、今回の事業を別にしても、他の自治体と比較して、スタートラインが少し遅れている気がします。できれば、早い段階で他の自治体と同様の中学3年生まで拡充をしていただきたいと思います。

#### (村上委員)

私も有効であると考えます。まず、実績値が目標値を大幅に上回った点、また子育て世帯の経済的負担が解消されたという点は非常に大きいと思います。ただ、一般的に社会調査では満足度が高めに多いので、37.4%の満足度は、決して高い数値ではない。他の自治体と比べてもう少し対象を引き上げる方向で取り組んでいただきたいと思います。

#### (今川委員長)

はい、ありがとうございます。結論としては、医療費の軽減等にもつながったということで、有効であったとします。ただ、ご指摘のあったように、実績値は目標値より高いが、この実績値で本当に良いのか、もう少し努力をしてほしいというご意見もあり、そういう期待も込めての有効であったということでしょうか。

それでは、次に「実績値を踏まえた事業の今後について」の評価に移らせていただきます。先ほどと同様に、事業の今後の方針について、事業拡大、改善、継続、中止の4つの選択肢の中から、選んでいただきまして、その理由も含めてご意見を頂戴したいと思います。それでは、順にご発言をお願い致します。

#### (岡本副委員長)

今後の方針としましては、1番の「事業拡大」で良いと思います。理由としましては、目標値の数値を大きく上回った点。ただ、先ほど村上委員がおっしゃったように、「どちらとも言えない」も約42%を占めていますので、今後も継続した取組みを行い、満足度を上げていってほしいと思います。

す。

#### (篠原委員)

私も1番の「事業拡大」としてしています。みなさんと同じですが、医療費だけの問題ではないと思いますが、アンケート結果を見る限りでは、子育て環境や支援への満足度で「どちらともいえない」というのが一番多く、もっとインパクトのあるわかりやすいサービスがあると良いのではと思います。椎場委員がおっしゃられたように、早く他の市とせめて同等レベルまで推進していただければと考えています。

#### (椎場委員)

私も事業拡大としてしています。人口増にはこども医療費の事業は絶対不可欠なものと思います。他の自治体から転入してくるには、住みよい、子どもにやさしいまちというのが一番ではないかと思います。医療費がかかるのか、かからないのかは非常に重要なところだと思います。

#### (村上委員)

私も1の事業拡大です。理由としましては、数値が良かったということです。今後としましては、アンケート調査の問題があると思います。ざっくり満足度を聞くのではなく、領域別に分けて聞くことで、ここは良いが、ここはまだまだという形で見えてくるかもしれません。また、遊び場の問題とありますが、これはアンケートを行うよりもヒアリングを行う方が細かくニーズを拾えるのではないかと思います。あと、数値目標として合計特殊出生率を上げていますが、指標の性格上、婚姻率に左右される場合もありますから、出生数でみるとどうなのかなと思いました。

#### (今川委員長)

ありがとうございます。結論から言いますと1の事業拡大の選択肢となります。ただ、いろいろと課題も意見として出されました。アンケートの取り方についても、項目ごとに取り方を検討されるのが良いということ。それから、他市との比較については、スタートラインが低かったというご指摘もございましたが、徐々に引き上げてきたということで、今後もがんばっていただきたいと思っています。あるいは、子育てをしていく中では、医療費助成だけではないので、健康づくりも含めまして、様々なことを検討しながら、総合的な取組みを進めていただきたいと思っています。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

### **【③来訪促進モニター事業】**

#### (今川委員長)

それでは、続いて、事業3 来訪促進モニター事業について、評価を行います。担当課の方は、説明の前に、所属とお名前をおっしゃっていただきまして、説明をお願いします。それではよろしくをお願いします。

#### 事業担当課 (いずみアピール課)

市長公室次長、秘書・いずみアピール担当の辻でございます。

それでは、「来訪促進モニター事業」について、資料4に基づき着座にて説明をさせていただきます。

まずはじめに、事業の目的でございますが、本市は、府内最大のみかんの産地であるなど農業が盛んであるほか、全国シェアが7割を超える地場産業を有し、また、かつて「和泉国」の国府の地として栄えたことなどもあり、観光資源に恵まれています。知名度は高いとは言えないものとなっております。

こうしたもとで、数多くの資源とポテンシャルを最大限生かした地域の活性化を図っていくことが求め

られており、総合戦略の基本目標V「新旧の魅力が融合する観光の振興」として平成31年度までの観光客数を1.6倍の160万人を着実に達成させていくため、本モニターツアー事業を実施し、来訪者にモニターとして意見や提案などを聞き取るなど、「観光振興戦略プラン」に基づいた来訪促進に向けた取り組みの充実を図るものでございます。

次に事業の内容でございますが、観光振興戦略プランの策定委託と来訪促進事業の実施でございます。

次にKPIでございますが、モニターツアー利用者について、目標値200人に対し、実績値は201人で、達成状況は100%でございます。次に予算・決算でございますが、予算額700万円に対し、決算額は6,845,500円でございます。

次に事業の実績及び取組状況でございますが、観光戦略プランの策定委託につきましては、観光振興を戦略的に取り組むプランとして、「和泉市観光振興戦略プラン」と「モニターツアープラン」の策定を外部委託にて行ったものでございます。同プランの策定では、観光客の状況調査、専門家などによるプロジェクトチームの設置、モニターツアーを実施した結果を踏まえた内容になってございます。

来訪促進事業の実施でございますが、来訪者のニーズや課題などを明らかにし観光振興戦略プランに反映させていくため、来訪促進モニターツアーを実施したものでございまして、その内容につきましては、日頃、ららぽーと和泉などの大型商業施設にいられているお客様をターゲットにした行程を3回実施し、参加者は計103名、阪九フェリーで来阪できる北九州地域をターゲットにした行程を2回実施し、参加者は計88名、インバウンド対応として日本で観光ガイドを行う韓国人女性ガイドを対象にした行程を1回実施し、参加者10名でございます。

ツアーでは、本市の主要資源である和泉市久保惣記念美術館での鑑賞、松尾寺及び葛葉稻荷神社の散策、道の駅・いずみ山愛の里での買い物、リアーナでの人造真珠でアクセサリーをつくる体験を行ってもらうほか、和泉らしさが感じられる食事のメニューも新たに開発し、ご賞味していただいたものでございます。

次に本事業の効果についての評価でございますが、モニターツアーのなかで、久保惣記念美術館と人造真珠のリアーナが非常に満足度の高い施設であることが把握できたともに、観光客の立場に立ったおもてなし体制や観光インフラが不十分であるとした課題が明らかになったものでございまして、これらの状況を踏まえて観光振興をどのようにして取り組んでいくのかを示す観光振興戦略プランを策定することができたものでございまして、十分効果的であったと考えております。

次に本事業の必要性についての評価でございますが、観光振興戦略プランの事業期間は平成31年度までであり、モニターツアーも含めたプラン内容を着実に実施していくものでございます。

次にKPIの要因分析でございますが、モニターツアープランの価格設定や、ららぽーとの会員を対象にしたDM及び新聞への広告掲載とした周知方法、市場ニーズを含めて精査・検討を行ったことが目標達成に結び付いたものと考えております。

最後に、今後の取組でございますが、今年度につきましては残念ながらモニターツアーについての予算計上は出来ておりませんが、観光振興戦略プランで位置付けております、和泉市久保惣記念美術館を中心に半径2キロメートルの地域を「和泉・久保惣ミュージアムタウン」として民間事業者や地元住民を含めた推進協議会をすでに設置したものでございまして、重点的に当該地域の観光推進を行うとともに、中長期的な構想を検討していくものとしております。

また、当該エリアの魅力発信と、一層の来訪促進を図る仕掛けづくりに向けまして、必要なモニターツアーにつきまして、観光おもてなし処の管理運営事業に含まれている1日観光ツアーとして実施していくとともに、観光おもてなし処の受託者である近畿日本ツーリストなどの旅行事業者とも連携して取り組み、年間観光客数の増加をめざしているものでございます。

以上が来訪促進モニター事業の説明でございます。よろしくお願い申し上げます。

#### (今川委員長)

ただいまのご説明に対しご質問はございませんでしょうか。

(篠原委員)

モニターツアーに参加された方のプロフィールは把握されていますか。例えば、和泉市民の方なのか、市外の方なのかというように。

事業担当課（いずみアピール課）

それぞれ申し上げますが、ららぽーと和泉の会員様につきましては、出発点が分かれており、和歌山紀北地域であれば、かつらぎ町や和歌山市周辺の方、大阪発であれば、大阪市、堺市、大阪市周辺市の方と和泉市民が含まれてございます。

(今川委員長)

他に質問はございませんでしょうか。

ご質問がないようですので、事業の評価に入らせていただきます。先ほどと同じようにKPIの達成に有効であったか、有効でなかったの2者択一の選択とその理由を併せてお願いいたします。

(岡本副委員長)

この事業についても、1の有効であったと考えます。その理由としましては、目標を達成されていますし、総合戦略における施策の方針や具体的な取組みに合致するものであり、評価できるものと考えます。

(篠原委員)

私も有効であったと考えています。先ほどお話しいただきました、市外からの参加者が多いということが価値を高めていると思います。あと、魅力の再発見といえますか、実はこういうところに魅力があったのだと認識できたところも良かったと思います。

(椎場委員)

私も有効であると考えています。ただ、委託された業者さんがどのように募集をされたか、例えば和歌山方面からのツアー客をどのように集められたのかわかりますか。

事業担当課（いずみアピール課）

和歌山方面と大阪市内方面ですが、ららぽーと和泉の会員さん約1万人に対し、モニターツアーの参加を呼びかけました。

(椎場委員)

ありがとうございます。それと人造真珠のリアーナや久保惣記念美術館などポイント、ポイントをとってツアーを組んでいることは将来に向けて非常に良いと思います。今回の事業で良いところを活かしていただいて、和泉市の観光振興につなげていただければと思います。

(村上委員)

評価は1の有効とします。理由は、実績値が目標値を上回ったことからです。課題はあとで申しませんが、今後の課題につながるかなり率直で、厳しくて、具体的な意見を取ることができたことが、この事業として良かったことだと思います。

(今川委員長)

はい、みなさん、K P I 達成に有効であったということで、実績値を達成していることやモニターとしては意見を取ることができたということですね。個人的には、今回のモニターは格安ですので、今後自費で行く場合はどうなるのか、今後、総合的に検討されて事業として進めていただければと思いました。あと、出発点も広域的ですから、広域的に連携しながら和泉市の観光資源も盛り上げていくという発想も必要ではないかと思います。いずれにしても、有効でよろしいでしょうか。

それでは、続きまして「実績値を踏まえた事業の今後について」の評価に移らせていただきます。先ほどと同様に、事業の今後の方針について、事業拡大、改善、継続、中止の4つの選択肢の中から、選んでいただきまして、その理由も含めてご意見を頂戴したいと思います。それでは、順にご発言をお願い致します。

#### (岡本副委員長)

今後の方針としましては、1番の「事業拡大」で良いと思います。ただ、1点ですが、平成28年は予算措置なしということですので、ツアーの実施については、利用者が満足していただけるよう工夫して行っていただきたいと思います。

#### (篠原委員)

評価が難しいのですが、2に一応つけました。ただ、1でも良いと思っているのですが、取組みの追加等さらに発展させるところと、改善というところを近いものと認識しています。と言いますのも今回のツアーは一般向けに行ってこれはこれで良かったと思います。ただ、今年は予算が取れていないということをお聞きしましたが、今後継続していくのであれば、一般向けではなく、メディア関係者をお招きして、プレスツアーとかモニターツアーをやって、それをテレビ、ラジオ、雑誌、新聞など記事にさせていただくということも、魅力を発信するという意味では非常に効果的ではないかと考えています。改善、見直しといいますか、別なやり方でアプローチしても良いのではないかと思います。

#### (椎場委員)

私も事業拡大としています。近々、ホテルの建設が計画されています。今後、ホテル等との連携を取っていただいて、和泉市に来られた観光客をねらって事業を進めていかれると良いと思います。

#### (村上委員)

私は、申し訳ありませんが、2の評価です。事業の目的にみかん、農業とありますが、みかんはみかんパンくらいしか書かれておらず、みかんが前面に出ていないことが残念に思いました。それから、買い物だと個性が出にくいのかと思いました。買い物だと大阪市内の方がずっと種類も豊富です。ららぽーとの会員は、もともとららぽーとの一定のファンです。ららぽーとに興味がない人にも和泉市に来てもらうのが良いですから、モニターとして安く行けて楽しかったと評価が出るのはある意味当たり前ではないかと思いました。あとは、アンケートを見てみると、老眼で苦労したというコメントもありまして、対象者は割と年配の方に偏っているのではないかと。ツアーですのでツアーの方が多いのは、当然なのですが、インバウンドで一番困っているのは、若くて、カップルとかで2人くらいで来ている人なんですよ。ツアーで来た人は添乗員が説明してくれますが、個人で来た人は、地図がない、案内板がない、そういうところで大変困っているの、そういう人たちの意見も組み取れば良かったのではと思いました。

#### (今川委員長)

ありがとうございます。今後の方針の4つの選択肢の中では、今2対2ですが、篠原委員が1に近いということです。選択肢としては1でよろしいでしょうか。ただ、今、他の委員からもご意見がございましたように、予算がつかないということもございますので、この点を踏まえながら、効果が上がるような仕組みをどのように考えていくかということが問われていくと思います。また、村上委員からみかんが前面に出ていないとか、買い物でも本当にこれで良いのか、ららぽーとの会員なのでどうなのかなど、課題もいろいろと出ましたので、その課題も評価シートに記載していただきたいと思います。さらに、今後のあり方として、篠原委員からメディア関係者の活用について、ご意見がございましたが、これは発信するには非常に有効な取組みだと思います。よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

#### 【④農業担い手育成事業】

##### （今川委員長）

それでは、続いて、事業4 農業担い手育成事業について、評価を行います。担当課の方は、説明の前に、所属とお名前をおっしゃっていただきまして、説明をお願いします。それではよろしくお願いします。

##### 事業担当課（農林課）

環境産業部次長兼農林課長の濱田でございます。農林課長補佐の藤里でございます。

農業担い手育成事業でございますが、事業の目的としまして、本市は、府内でも農業が盛んな地域でございますが、後継者が不足している現状にかんがみまして、本市にて就農希望する人材を対象に農業の技術とノウハウを習得するための講座を開講し、新たな農業の担い手を発掘、育成することと、また、6次産業化の実践的な研修を実施することにより、新たな販路開拓の促進を図るとともに、商品開発による新たな観光資源の創出を目的とするものでございます。

次に、事業の内容につきましては、農業担い手育成新規就農研修では農業研修プログラムを実施し、また6次産業化実践研修では、新たな加工品の試作・開発に対する支援を行いました。

KPIにつきましては、新規就農者研修3名、6次産業化実践研修2団体27名の合計30名の目標に対しまして、新規就農者研修に3名、6次産業化実践研修に2団体36名、あわせて39名の参加がございました。予算につきましては、委託料5,000,000円に対し、地域農業に精通し、農業のノウハウを備えておりますいずみの農業協同組合へ業務委託し、その委託料は3,835,080円でございます。

事業の実績、取組状況でございますが、新規就農研修では、3名の対象者が11月から3月にかけて、市内を代表する5軒の認定農業者のもとにて、1軒あたり10日間の計50日間の実践的な就農研修を受講しました。6次産業化実践研修では、小川いちご組合がいちご狩りシーズン終了後のいちごを利用し、ジェラートを試作し、モニタリングを経て、今年の5月3日から農産物の直売所にて現在販売を行っているところでございます。また、農業後継者の会ではそれぞれ持ち寄った小松菜、人参等の野菜をフリーズドライ化し、岩塩と組み合わせた野菜ソルトや離乳食やふりかけなどに活用できます「和泉そのまま野菜パウダー」を試作しまして、商談会へ参加の上、商品のアピールに努めているところでございます。

続きまして、事業の評価でございますが、計画通り事業を展開できましたことから、達成状況も含め効果的であったと考えてございます。必要性につきましても、両事業とも一過性で終わらせることなく、担い手を確保するという観点から複数年にわたり実施していくことで自立した農家さんの確立などより効果が期待できるものと考えてございます。

最後になりますが、今後の取り組み方でございますが、引き続き、担い手確保に向け事業を継続していく必要があると考えておりますので、平成28年度におきましても地方創生加速化交付金を活用して、6次産業化をはじめとした支援を行ってまいりたいと考えてございます。新規就農者研修を受講した3名は、1年目は野菜を中心とした様々な農業経営を経験した上で、2年目以降はその中で自分に見合っためざす

べき農業経営を集中的に研修していただくことを基本として進めてまいります。農の雇用事業、最大2年でございますが、その翌年には青年就農給付金等を活用しまして、研修を継続的に受講いただくことにより、本格的に自立・自走した農家の確立が図れるものと考えてございます。

6次産業化研修では取組主体である農家さんの意向を強く反映した加工品を試作してきましたが、2年目以降は実際に販売していくにあたり、おそらく問題点として出てくるであろうと思いますが、そこで改良を加え、売れ行きを伸ばしていくことと、加工品の売り上げが好調であれば事業者を支援する国の交付金などを活用し、加工する機械を新たに導入するなど、いずれも単年度だけでは効果が見極めにくいものがございますことから、継続した支援体制を整えていきたいと考えてございます。

事業内容等につきましては、以上でございます。

#### (今川委員長)

ただいまのご説明に対しご質問はございませんでしょうか。

#### (村上委員)

5月3日からいちごジェラートを売り出したということですが、売り上げはどのような状況で、また、販売しているところがどのような場所なのか、この2点について教えていただけますか。

#### 事業担当課（農林課）

販売場所は、葉菜の森という和泉市大野町にある直売所の前で出店のようなものを設けまして販売しています。

#### (村上委員)

そこは、和泉府中や和泉中央から何分くらいかかりますか。

#### 事業担当課（農林課）

和泉中央からですと約25分くらいかかると思います。売り上げの詳細は、聞いておりませんが、土日は集客が多いので、相当な売り上げがあると聞いています。あと、雨の日は売れ行きが悪いと聞いております。

#### (今川委員長)

他に質問はございませんでしょうか。ご質問がないようですので、事業の評価に入らせていただきます。これまでと同じようにKPIの達成に有効であったか、有効でなかったの2者択一の選択とその理由を併せてお願いいたします。

#### (岡本副委員長)

この事業についても、1の有効であったと考えます。総農家数が減少傾向にある中で、和泉市の農業の次世代の担い手の育成は喫緊の課題であると考えます。このような中で、新規就農研修において募集定員を確保できたことは、評価すべきことだと思います。

#### (篠原委員)

私も有効であったと考えています。目標値が30人で実績が39人と目標を達成している点と、予算についても低く抑えられており、効果的であったと考えています。

#### (椎場委員)

私も有効であると考えています。和泉市は昔から農業が主というくらい盛んであり、農業がダメなら和泉市もダメになると思います。みかんやイチゴをはじめ、農業をしっかり支援していただかないと困ると思っています。評価の理由としては、参加人数が目標より多いし、試作品についても販売され、商品化もされている。今後事業拡大の方向につなげていただければと考えています。

#### (村上委員)

私もみなさんと同様で、実績値が目標値を上回っていることと、決算が低く抑えられているので、有効したいと思います。

#### (今川委員長)

結論としては、K P I 達成に有効であったとなります。ただ、現在、目標の数値を上回っておりますが、研修のレベルですので、就農に結びつくためには、様々な支援が必要ではないかと思います。農地の確保や今の農業経営者のコミュニティの中でどのように体制づくりを行っていくのかなど、いろいろなことを踏まえながら、ますます発展させていただければと思います。

それでは、続きまして「実績値を踏まえた事業の今後について」の評価に移らせていただきます。先ほどと同様に、事業の今後の方針について、事業拡大、改善、継続、中止の4つの選択肢の中から、選んでいただきまして、その理由も含めてご意見をお願い致します。

#### (岡本副委員長)

今後の方針としましては、1番の「事業拡大」が良いと思います。理由としましては、このような取り組みを続けていかないと担い手は育たないし、増えないと思います。今後も粘り強く取り組んでいただきたいと思います。

#### (篠原委員)

私も1番の事業拡大です。ベジタブルソルトやイチゴジェラートは地域のお土産として定着していくと良いと思いますし、なりうるものであると考えています。先ほどの事業において、資料の27ページのアンケートにおいて、阪九フェリー版の参加者からのお土産物の回答例で、お土産屋さんが少ないとか、お土産所が少ないとか、他県へ持っていきける銘菓を作るべきとか、とにかく買うものがないというような意見がかなり目立っておりまして、そういうものを積極的に商品開発するサポートができると良いのではないかとということと、それが農業をベースにするというのであれば、なお良いのではないかと考えています。

#### (椎場委員)

私も1番の評価とします。今回の試作品については、南部地域の1か所ではしか販売していないので、できれば市の中心地のお客さんの多いところで販売していただくとか、スーパーの一部を借りて和泉市の特産品として売り出すような取り組みを行う等、ぜひ盛り上げていただきたいと思います。

#### (村上委員)

私は、申し訳ありませんが、2の評価です。和泉中央から25分のところで売っていて、今、若者は大学生に限らず車をもっていない人が多いので、ジェラートは年齢層を限定するものではありませんが、やはり若い人が多いところで販売していただきたいのが1点です。それから、このベジタブルソルトを見せていただきましたが、今の若い人たちの生活実態にどの程度合っているのか、学生に限らず若い人がどれくらい料理をするのか、ということを考えますと、方向性として、いろいろなPRをして、どう料理に使うか、具体的などころも含めて、簡単にできる3分間クッキング的なものを示

して誘導する方法が1つ、あともう1つは、スープにしまって、忙しいビジネスマンもそのままお湯だけでいただけるという簡単なものにしてしまう方法もあるのかなと。そこはマーケティングもなさっているということなので、今後に期待したいなと思います。

#### (今川委員長)

ありがとうございます。共通しているのは粘り強く、継続してやるべきだということで、村上委員は期待を込めたご発言で2番ということでしたので、委員会としては1番としたいと思います。商業者との連携、また飲食店との連携も必要かもしれませんし、若い世代をにらんで今後どのように商品開発をしていくのか、検討していただければと思います。このあたりでよろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

### **次第5 地方創生先行型交付金事業⑤和泉市総合戦略策定事業の報告**

#### (今川委員長)

次第の4が終わりました。それでは、次第5「平成27年度実施 地方創生先行型交付金事業の報告」に移ります。こちらは、交付金を活用した事業でございますが、効果検証の対象外となっておりますので、報告のみといたします。

それでは、和泉市総合戦略策定事業について、担当課より説明をお願いします。

#### 事務局（政策企画室 門林）

それでは、総合戦略策定事業につきまして、政策企画室 門林からご説明させていただきます。資料6をお願いします。

本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の取組みに関して、交付金を活用したものでございまして、交付金を活用した事業の内容としては、総合戦略の検討を行いました総合計画審議会の運営費と総合戦略策定に係る関連調査・分析業務の委託でございます。

予算の執行状況としましては、戦略策定に係る調査分析業務の委託料として、5,000,000円、会議の運営費として、委員の報酬やお茶代、会議室の使用料として444,635円を執行し、全体では、5,444,635円となっております。

表の中ほどでございますが、【D】事業の実績、取組状況は、総合計画審議회를3回開催し、また、総合戦略策定関連調査・分析業務を株式会社 日本政策投資銀行へ委託し、精度の高い地域経済分析を行い、産業構造と就業構造という本市の地域経済構造を明らかにし、総合戦略へ盛り込んだものでございます。

以上、簡単でございますが、総合戦略策定事業の説明とさせていただきます。よろしく申し上げます。

#### (今川委員長)

ただいま説明が終わりました。本件について、審査の対象ではありませんが、ご質問等ございますでしょうか。

とくに無いようですので、以上をもちまして、和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生先行型交付金事業の評価を終了させていただきたいと思います。なお、本日のご意見の取りまとめは、委員長の私に一任していただき、後日、メール等で内容をご確認していただいたうえで、最終的に市長に答申してまいりたいとかがえておりますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、本日の評価は、これにて終了しますが、地方創生の取組みは、和泉市においても始まったところでございますし、第5次和泉市総合計画もこれからスタートするところでございます。

計画を立案するには相当な労力を要しますが、策定した計画を実行していくには、さらに大きな努力と決断力が必要となってまいります。

和泉市におかれましては、本日の委員会の評価を十分に参考にしていただきまして、PDCA サイクルを徹底され、地方創生、また、和泉市の活性化に向けて、積極的に取り組んでいかれることを期待いたします。

結びになりますが、本日の会議の進行につきまして、委員の皆さま、ご協力いただき、まことにありがとうございました。それでは、この後の進行について、事務局よりお願いします。

## **次第6 閉会**

### **司会（政策企画室長小泉）**

今川委員長、ありがとうございました。また、委員の皆さまにおかれましては、本日は、長時間にわたり事業の評価を行っていただきまして、また貴重なご意見をいただきまして、まことにありがとうございました。

また、今後の答申作成の事務手続につきましては、答申（案）を委員長に取りまとめていただいた後、委員皆様にメール等でご連絡を差し上げ、ご確認いただいた後、市長あて答申をさせていただきたいと存じます。

それでは、閉会にあたり、副市長の宮崎から、ひとことご挨拶申し上げます。

### **【閉会あいさつ】**

#### **副市長 宮崎**

和泉市外部評価委員会の閉会にあたり一言お礼のご挨拶を申し上げます。

本日は、今川委員長様をはじめ、委員皆様方には、たいへんお忙しいなか、長時間にわたり活発なご議論をいただきまして、また時には厳しいご意見もいただきながら、事業の評価を比較的好意的に評価していただきまして、誠にありがとうございました。

私どもとしましては、後日、委員長から市長へ答申いただきます内容を真摯に受け止めまして、今後の地方創生の取組みへつなげていきたいと考えてございます。

ただ、地方創生の取組みでございますけれども、全体的に国の動きも今後どのように進んでいくかわからないというところと、周りを見ておりましても全国的にどれだけ成果が出ているのかよくわからないという状況がございます。幸いにして、和泉市は、地方と申し上げてよいのかということもありますが、地方と比べますと人口構成は比較적まだ若いですし、いろいろな意味で恵まれているのではないかと実感しておりまして、地方で行われているよい取組みを掬い上げていくことができればと考えてございます。

一方で本市におきましても、例えば北部や南部地域におきましては、深刻な高齢化や人口減少が進んでおりますし、方や和泉中央ではマンモス校といえますが、生徒の過密校もあり、こういったところが同時に進行しているというちょっと不思議なところのある市でございます。

国の財源であれ、どのようなものでも使えるものは何でも活用し、地方創生の取組み、ひいては和泉市の発展に今後も取り組んでまいり所存でございますので、委員の皆様方には、これからも変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、私からのお礼のご挨拶とさせていただきます。本日は、本当にありがとうございました。

### **司会（政策企画室長小泉）**

ありがとうございました。それでは、これもちまして、和泉市外部評価委員会を閉会いたします。委員の皆様、長時間に渡り誠にありがとうございました。

< 終了 >